

標準フォーマット仕様書 (2025 年度実証)

目次

1 概覧.....	4
1.1 仕様の作成情報.....	4
1.2 目的.....	4
1.3 製品の範囲.....	4
1.4 引用規格等.....	5
1.5 用語と定義.....	6
2 データの内容及び構造.....	7
2.1 はじめに.....	7
2.1.1 対象とする設備データ.....	7
2.1.2 基本的なデータ型.....	8
2.1.3 設備属性項目・形状仕様.....	9
2.1.4 設備データで使用するコードリスト.....	23
2.1.5 任意属性項目の利用方法.....	28
3 参照系.....	29
3.1 空間参照系.....	29
3.2 時間参照系.....	29
4 書式情報.....	29
4.1 文字集合.....	29
4.2 言語.....	29
5 配布媒体情報.....	30
5.1 ファイル単位.....	30
5.2 ファイル名称.....	30
5.3 フォルダ構成.....	31
5.4 成果品の単位と空間範囲.....	31

5.5 提供形式.....	31
5.6 拡張規則.....	32

1 概覧

「標準フォーマット仕様書」（以下「本仕様書」）の基本情報を示す。

1.1 仕様の作成情報

題名	標準フォーマット仕様書 第1版
日付	2025/1/23
言語	日本語
作成者	NTT インフラネット
文書書式	PDF/WORD

1.2 目的

本仕様書は、各公益事業者が設備データを整備する際に、統一されたファイル仕様の作成を支援し、以下の3点を実現することを目的とする。

- 様々な形態で管理されている設備データを同一仕様で管理できること
- 国・自治体及び公益事業者を横断して設備の位置情報を管理できること
- 3D化を見据え、位置情報及び形状把握に必要な情報を可能な限り管理できること

1.3 製品の範囲

本仕様書に基づく設備データの対象範囲は日本国内全域とする。また、時間の範囲はグレゴリオ暦及び日本標準時とする。

1.4 引用規格等

本仕様書が引用する規格・仕様を以下に示す。

表 1-1 本仕様書が引用する規格等

文書名	URL
シェープファイルの技術情報	https://www.esrij.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/shapefile_j.pdf
3D 都市モデル標準製品仕様書(5.0 版)	https://www.mlit.go.jp/plateadocument/

また、設備属性で用いるコード値は、3D 都市モデル標準製品仕様書に記載された以下ファイルを参考に定義する。

表 1-2 属性コード値の定義に用いたファイル

属性項目名	URL
設備種別	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.2/CityFurniture_function.xml
	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.2/CityFurnitureDetailAttribute_facilityType.xml
	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.2/Appurtenance_appurtenanceType.xml
	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.2/UtilityNodeContainer_containerType.xml
管種	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.2/UtilityNetworkElement_material.xml

1.5 用語と定義

本仕様書が使用する用語・定義を以下に示す。

表 1-3.用語と定義

用語	定義
シェープファイル	Esri 社が策定したデータフォーマット。位置や形状、属性情報を格納することが可能で、GIS ソフトウェアで幅広く利用されている。 出典: https://www.esri.com/gis-guide/esri-dataformat/shapefile/
事業者	公益事業者と同義。
事業者コード	事業者を識別するコード値。インフラ管理 DX システムに設備データを提供する際に払い出される。
設備分類	データ整備対象となるインフラ設備の種類。
座標系	地球上の位置を座標で表すための原点や座標の単位などの取り決めのこと。 出典: https://www.esri.com/gis-guide/coordinate-and-spatial/coordinate-system/
平面直角座標系	地球上の点を緯度経度ではなく、平面上の X(東西)・Y(南北)の数値で表す方法。精度を保つため、全国を 19 の座標系に分け、誤差が 1/10000 以内に抑えられるよう設計されている。 出典: https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html
ジオメトリ	図形の形状と座標情報のこと。 Point(点)、PolyLine(線)といった種類が存在する。
シングルパート	1 つのオブジェクトが 1 つのジオメトリで構成されている状態。 出典: https://tech-support.esri.com/arcgis/article/web/knowledge2928.html
マルチパート	1 つのオブジェクトが、複数のジオメトリで構成される状態。 出典: https://tech-support.esri.com/arcgis/article/web/knowledge2928.html
コード値	一部属性で使用される数字、または英数字の値。属性名とコード値から詳細を定義する。
JSON	JavaScript Object Notation の略。構造化データの表現形式。
フィーチャ	GIS で扱う 1 つ 1 つの「地物」。現実世界のモノ(例: 駅、道路、建物など)をデジタル化したもので、形状(点・線・面)と属性(名称・種類など)のセットで構成される。 出典: https://www.esri.com/gis-guide/arcgis-basic/feature-featureclass/
GIS	地図上の位置に結びついたデータ(空間データ)を 管理・加工・表示・分析するためのシステム。複数の情報を地図上で重ね合わせることで、災害対策、インフラ管理、都市計画など高度な分析や判断が可能になる。 出典: https://www.gsi.go.jp/GIS/whatisgis.html

2 データの内容及び構造

2.1 はじめに

標準フォーマットの内容及び、設備データの構造について定義する。

2.1.1 対象とする設備データ

本仕様書で対象とする設備データは、公益事業者が管理する設備のうち、以下の6種類の設備分類とする。

- **埋設管路** : 地下に敷設された管路 (例: 高圧管、中圧管など)
- **地下電線類** : 地下に敷設された電力・通信ケーブル (例: 地下電線)
- **地上電線類** : 地上に架設された電力・通信ケーブル (例: 架空線、光ファイバーなど)
- **電柱類** : 電線類を支持するための柱状構造物 (例: 電柱)
- **地下附帯施設** : 地下設備の維持管理に必要な附帯構造物 (例: 変圧器、バルブ・ボックスなど)
- **地上附帯施設** : 電線類や電柱類に関連する地上設備 (例: 排水溝、消火栓など)

2.1.2 基本的なデータ型

設備データ属性の型（値の種類）として使用される基本的なデータ型の定義は、シェープファイルの仕様に準拠し、以下の通りとする。

表 2-1.使用するデータ型

データ型	説明
Character	任意の文字列
Date	年月日をあらわす数字及び文字（内部表現は8桁のYYYYMMDD形式）
Numeric	任意の数値(整数)

2.1.3 設備属性項目・形状仕様

設備分類ごとの属性項目及び形状の仕様について示す。なお、ジオメトリタイプは全てシングルパートとする。マルチパートは使用しない。

必須項目以外の設定値が未設定の場合、NULL を格納する。属性項目自体はファイル内に全て存在しているものとする。

共通属性項目

全ての設備分類に共通する属性は以下の通り。

表 2-2. ファイル定義(共通属性項目)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。例) 2025/10/20 15:00
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。
8	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。 例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ
9	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
10	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
11	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
12	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
13	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明
14	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
15	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
16	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
17	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。
18	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。

埋設管路

ジオメトリタイプ : PolyLine (X, Y)

表 2-3. ファイル定義(埋設管路)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 ¹
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用	-
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー	-
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名	-
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定	-
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。 例)2025/10/20 15:00	-
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
8	管の外径	out_diam	Numeric	10	○	外径。単位は mm。例)1234 ※整数で指定	○

¹ 共通属性項目（表 2-2. ファイル定義（共通属性項目））以外に定義される属性項目。設備分類ごとに異なる。

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 ¹
9	管の外径の精度	out_d_prec	Character	254	-	管の外径の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
10	管の内径	in_diam	Numeric	10	-	内径。単位は mm。例)1234 ※整数で指定	○
11	管の厚み	thickness	Numeric	10	-	厚み。単位は mm。例)1234 ※整数で指定	○
12	管種	pipe_mat	Character	254	-	管の材質。管種のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
13	始点土被り	str_depth	Numeric	10	○	管路始点(上流)の Z 座標(標高基準)。縦断・横断上の形状構成点。単位は mm。土被りの精度がある場合に必須。例)123 ※整数で指定	○
14	終点土被り	end_depth	Numeric	10	○	管路終点(下流)の Z 座標(標高基準)。縦断・横断上の形状構成点。単位は mm。土被りの精度がある場合に必須。例)123 ※整数で指定	○
15	土被りの精度	depth_prec	Character	254	-	土被りの精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
16	延長	ex_length	Numeric	10	-	延長。単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
17	条数	row_num	Numeric	10	○	条数。例)10 ※自然数で指定	○
18	段数	column_num	Numeric	10	○	段数。例)10 ※自然数で指定	○
19	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ	-
20	残置区分	ret_type	Character	254	-	残置物件か否かの判別用。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
21	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
22	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
23	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
24	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
25	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
26	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
27	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。(JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 1
28	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
29	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
30	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
31	離隔	clearance	Numeric	10	○	単位は mm。例)1200 事業者(電力・通信)は必須、その他事業者は「0」とする ※整数で指定	○
32	Type	pipe_type	Character	254	○	電力管路・通信管路:Cable、その他事業者管路:Pipe	○

地下電線類

ジオメトリタイプ : PolyLine (X, Y)

表 2-4 ファイル定義(地下電線類)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 ¹
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用	-
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー	-
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名	-
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定	-
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。例) 2025/10/20 15:00	-
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
8	直径	diam	Numeric	10	○	電線の直径 単位は mm。例)1234 ※整数で指定	○
9	土被り	org_depth	Numeric	10	○	Z 座標(標高基準)。縦断・横断上の形状構成点。単位は mm。土被りの精度がある場合に必須。例)123 ※整数で指定	○
10	土被りの精度	depth_prec	Character	254	-	土被りの精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
11	延長	ex_length	Numeric	10	-	延長。単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
12	条数	row_num	Numeric	10	○	条数。例)10 ※自然数で指定	○
13	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。 例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ	-
14	残置区分	ret_type	Character	254	-	残置物件か否かの判別用。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
15	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
16	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
17	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
18	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 1
19	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
20	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
21	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
22	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
23	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
24	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

地上電線類

ジオメトリタイプ : PolyLine (X, Y)

表 2-5. ファイル定義(地上電線類)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 ¹
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用	-
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー	-
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名	-
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定	-
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。 例)2025/10/20 15:00	-
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
8	直径	diam	Numeric	10	○	電線の直径 単位は mm。例)1234 ※整数で指定	○
9	延長	ex_length	Numeric	10	-	延長。単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
10	条数	row_num	Numeric	10	○	条数。例)10 ※自然数で指定	○
11	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。 例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ	-
12	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
13	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
14	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
15	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
16	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
17	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 1
18	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
19	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
20	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
21	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

電柱類

ジオメトリタイプ : Point (X, Y)

表 2-6. ファイル定義(電柱類)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 1
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用	-
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー	-
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名	-
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定	-
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。例) 2025/10/20 15:00	-
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
8	数量	qty	Numeric	10	-	複数の電柱をまとめて 1 か所で表記する際に記載。例)10 ※整数で指定	○
9	埋設深さ	bury_depth	Numeric	10	○	埋設の深さ 単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
10	電柱の高さ	pole_hgt	Numeric	10	○	電柱の高さ 単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
11	電柱の横幅	pole_wd	Numeric	10	○	電柱の横幅 単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
12	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。 例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ	-
13	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
14	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
15	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
16	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
17	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 1
18	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
19	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
20	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
21	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
22	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

地下附帯施設

ジオメトリタイプ : Point (X, Y)

表 2-7. ファイル定義(地下附帯施設)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 ¹
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用	-
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー	-
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名	-
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定	-
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。例) 2025/10/20 15:00	-
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
8	数量	qty	Numeric	10	-	設備によって単位が異なる。例)10 ※整数で指定	○
9	土被り	org_depth	Numeric	10	○	Z 座標(標高基準)。縦断・横断上の形状構成点。単位は mm。土被りの精度がある場合に必須。例)123 ※整数で指定	○
10	土被りの精度	depth_prec	Character	254	-	土被りの精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
11	高さ	fac_size_h	Numeric	10	○	施設の高さ 単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
12	横幅	fac_size_w	Numeric	10	○	施設の横幅 単位は mm。 ポリゴンの場合は「-999」 例)123 ※整数で指定	○
13	奥行	fac_size_d	Numeric	10	○	施設の奥行 単位は mm。 ポリゴンの場合は「-999」 例)123 ※整数で指定	○
14	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。 例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ	-
15	残置区分	ret_type	Character	254	-	残置物件か否かの判別用。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	○
16	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
17	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 1
18	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
19	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
20	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
21	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
22	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
23	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
24	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
25	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

地上附帯施設

ジオメトリタイプ : Point (X, Y)

表 2-8. ファイル定義(地上附帯施設)

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自属性 ¹
1	シーケンス番号	seq_no	Character	254	○	公益事業者内の管理キーをシングルパートにした際に再付与される ID 指定がなければ UUID を使用	-
2	設備キー	fac_key	Character	254	○	公益事業者独自の業務的な管理キー	-
3	入力ファイル名	file_name	Character	254	○	公益事業者の入力ファイル名	-
4	設置年	inst_year	Numeric	4	-	該当設備を設置した年。運用開始年等の情報で代替可能。 西暦で指定する。例)2025 ※整数で指定	-
5	データ更新日時	org_update	Character	254	-	公益事業者が最後に設備データを更新した日時。 yyyy/MM/dd HH:mm 形式。 例)2025/10/20 15:00	-
6	XY 座標の精度	xy_prec	Character	254	-	XY 座標の精度のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
7	設備種別	fac_type	Character	254	-	設備種別のコード値。 2.1.4 設備データで使用するコードリストを参照。	-
8	数量	qty	Numeric	10	-	設備によって単位が異なる。例)10 ※整数で指定	○
9	高さ	fac_size_h	Numeric	10	○	施設の高さ 単位は mm。例)123 ※整数で指定	○
10	横幅	fac_size_w	Numeric	10	○	施設の横幅 単位は mm。 ポリゴンの場合は「-999」例)123 ※整数で指定	○
11	奥行	fac_size_d	Numeric	10	○	施設の奥行 単位は mm。 ポリゴンの場合は「-999」例)123 ※整数で指定	○
12	占用許可年月日	occ_perm	Date	8	-	占用許可年月日。yyyyMMdd 形式。 例)20250123 ※日付を 8 桁で持つ	-
13	任意属性項目 1	opattr_1	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
14	任意属性項目 2	opattr_2	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
15	任意属性項目 3	opattr_3	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
16	任意属性項目 4	opattr_4	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
17	任意属性項目 5	opattr_5	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

項番	論理名	物理名	データ型	桁数	必須	説明	独自 属性 1
18	任意属性項目 6	opattr_6	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上 限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
19	任意属性項目 7	opattr_7	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上 限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
20	任意属性項目 8	opattr_8	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上 限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
21	任意属性項目 9	opattr_9	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上 限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-
22	任意属性項目 10	opattr_10	Character	254	-	その他、事業者が保有する属性項目。 (JSON 形式を想定)。前のカラムの桁上 限に達した場合に利用する。 2.1.5 任意属性項目の利用方法を参照。	-

2.1.4 設備データで使用するコードリスト

以下に示す一部属性はコード値を用いて管理する。

表 2-9.コードリスト

(1) XY 座標の精度 (xy_prec)

コード値	内容
1	S:施工時に取得した計測情報をもとに整備したデータ(例:点群等の連続性のある情報を元に整備したデータ)
2	A:工事竣工時の情報を元に 1/500 または 1/1,000 の縮尺で管理されている図面又は GIS/CAD 由来のデータ
3	B:工事竣工時の情報を元に 1/2,500 未満の縮尺で管理されている図面又は GIS/CAD 由来のデータ
4	C:現状、位置情報(XY 座標)が管理・把握できていないデータ(設計標準値等で補完したデータを含む)

(2) 土被りの精度 (depth_prec)

コード値	内容
1	S:施工時に高精度な計測方法で取得した計測情報をもとに整備したデータ
2	A:設計図等何らかの諸元情報をもとに整備したデータ
3	B:登録時点で位置情報(Z 座標)が管理・把握できていないデータ

(3) 残置区分 (ret_type)

コード値	内容
1	残置

(4) 設備種別 (fac_type)

コード値	内容
CFTF4840	電柱類:電柱
CFTF5300	地上附帯施設:CAB
CFTF4030	地上附帯施設:アーケード
CFTF5030	地上附帯施設:エスカレータ
CFTF5020	地上附帯施設:エレベータ
CFTF9000	地上附帯施設:その他
CFTF4231	地上附帯施設:タンク
CFTF8170	地上附帯施設:テーブル
CFTF5620	地上附帯施設:ハンドホール
CFTF4245	地上附帯施設:ハリポート
CFTF8160	地上附帯施設:ベンチ
CFTF5610	地上附帯施設:マンホール
CFTF3110	地上附帯施設:案内標識
CFTF4224	地上附帯施設:井戸
CFTF4234	地上附帯施設:煙突
CFTF1110	地上附帯施設:横断歩道
CFTF5000	地上附帯施設:階段
CFTF9001	地上附帯施設:看板(自立式)
CFTF5600	地上附帯施設:管理用開口部
CFTF5100	地上附帯施設:管理用地上施設
CFTF4500	地上附帯施設:気象観測装置
CFTF1200	地上附帯施設:規制標示
CFTF3130	地上附帯施設:規制標識
CFTF4202	地上附帯施設:記念碑
CFTF4228	地上附帯施設:起重機
CFTF8060	地上附帯施設:軌道
CFTF6000	地上附帯施設:距離標
CFTF6010	地上附帯施設:境界標識
CFTF1010	地上附帯施設:区画線
CFTF8140	地上附帯施設:揭示板
CFTF3120	地上附帯施設:警戒標識
CFTF4000	地上附帯施設:建造物
CFTF4900	地上附帯施設:交通信号機
CFTF4235	地上附帯施設:高塔

コード値	内容
CFTF4400	地上附帯施設:災害検知器
CFTF2000	地上附帯施設:柵・壁
CFTF1100	地上附帯施設:指示標示
CFTF3140	地上附帯施設:指示標識
CFTF4100	地上附帯施設:視線誘導標
CFTF4208	地上附帯施設:自然災害伝承碑
CFTF8080	地上附帯施設:自動販売機
CFTF1030	地上附帯施設:車線境界線
CFTF1040	地上附帯施設:車道外側線
CFTF1020	地上附帯施設:車道中央線
CFTF7100	地上附帯施設:集水樹
CFTF8020	地上附帯施設:消火栓
CFTF4200	地上附帯施設:照明施設
CFTF4010	地上附帯施設:上屋
CFTF5400	地上附帯施設:情報 BOX
CFTF4251	地上附帯施設:水位観測所
CFTF9002	地上附帯施設:水飲み
CFTF7300	地上附帯施設:側溝
CFTF4020	地上附帯施設:地下出入口
CFTF4800	地上附帯施設:柱
CFTF4207	地上附帯施設:鳥居
CFTF5010	地上附帯施設:通路
CFTF1120	地上附帯施設:停止線
CFTF8010	地上附帯施設:停留所
CFTF8150	地上附帯施設:点字ブロック
CFTF4236	地上附帯施設:電波塔
CFTF8040	地上附帯施設:電話ボックス
CFTF4205	地上附帯施設:灯ろう
CFTF4241	地上附帯施設:灯台
CFTF4243	地上附帯施設:灯標
CFTF6020	地上附帯施設:道路元標・里程標
CFTF4300	地上附帯施設:道路情報管理施設
CFTF4600	地上附帯施設:道路情報板
CFTF4120	地上附帯施設:道路反射鏡
CFTF1000	地上附帯施設:道路標示
CFTF3000	地上附帯施設:道路標識
CFTF5630	地上附帯施設:入孔

コード値	内容
CFTF7500	地上附帯施設:排水ポンプ
CFTF7400	地上附帯施設:排水管
CFTF7200	地上附帯施設:排水溝
CFTF7000	地上附帯施設:排水施設
CFTF4239	地上附帯施設:風車
CFTF4223	地上附帯施設:噴水
CFTF4820	地上附帯施設:片持
CFTF3150	地上附帯施設:補助標識
CFTF4201	地上附帯施設:墓碑
CFTF4830	地上附帯施設:門型
CFTF4225	地上附帯施設:油井・ガス井
CFTF8050	地上附帯施設:輸送管
CFTF8030	地上附帯施設:郵便ポスト
CFTF6200	地上附帯施設:融雪施設
CFTF4203	地上附帯施設:立像
CFTF6100	地上附帯施設:料金徴収施設
CFTF4810	地上附帯施設:路側
CFTF4204	地上附帯施設:路傍祠
CFTF8070	地上電線類:架空線
CFTF5500	地上電線類:管路
CFTF4700	地上電線類:光ファイバー
CFTF5200	地上電線類:電線共同溝
CFDA0006	埋設管路:雨水
CFDA0007	埋設管路:汚水
CFDA0001	埋設管路:基幹管路
CFDA0009	埋設管路:共同溝
CFDA0003	埋設管路:高圧管
CFDA0008	埋設管路:合流
CFDA0002	埋設管路:支線
CFDA0004	埋設管路:中圧管
CFDA0005	埋設管路:中低圧管
CFDA0010	埋設管路:法による共同溝
ATAT0410	地下附帯施設:ガバナ
ATAT0580	地下附帯施設:その他施設
ATAT0540	地下附帯施設:その他配水弁柱
ATAT0570	地下附帯施設:テレメータ
ATAT0420	地下附帯施設:バルブ

コード値	内容
ATAT0550	地下附帯施設:加圧ポンプ
ATAT0530	地下附帯施設:空気弁
ATAT0560	地下附帯施設:計測施設等
ATAT0430	地下附帯施設:水取器
ATAT0510	地下附帯施設:弁栓類
UNCT0403	地下附帯施設:バルブ・ボックス
UNCT0005	地下附帯施設:換気孔
UNCT0401	地下附帯施設:気送室
UNCT0505	地下附帯施設:空気弁室
UNCT0405	地下附帯施設:自記圧力計塔
UNCT0003	地下附帯施設:手孔
UNCT0001	地下附帯施設:人孔
UNCT0501	地下附帯施設:制水弁室
UNCT0502	地下附帯施設:泥吐室
UNCT0004	地下附帯施設:洞道
UNCT0002	地下附帯施設:特殊人孔
UNCT0507	地下附帯施設:排気(水)弁室
UNCT0301	地下附帯施設:変圧器
UNCT0504	地下附帯施設:防火水槽
UNCT0404	地下附帯施設:防塵器室
UNCT0503	地下附帯施設:地下附帯施設:量水器室
UDGC0001	地下附帯施設:地下電線
NODT0001	共通:その他
NODT0002	共通:不明

(5) 管の外径の精度 (out_d_prec)

コード値	内容
1	正確な値
2	内径等から導出
3	設計標準値を利用

(6) 管種 (pipe_mat)

コード値	内容
UNEM0001	金属
UNEM0002	合成樹脂
UNEM0003	陶器:CP
UNEM0004	その他
UNEM0101	鉄筋コンクリート:RC
UNEM0102	遠心力鉄筋コンクリート(ヒューム管):HP
UNEM0103	ガラス繊維鉄筋コンクリート
UNEM0104	コンクリート製セグメント
UNEM0105	鋼製セグメント
UNEM0106	ミニシールド用鉄筋コンクリートセグメント
UNEM0107	ダグタイル鑄鉄管:DIP
UNEM0108	硬質塩化ビニル(薄肉管):VU
UNEM0109	硬質塩化ビニル(厚肉管):VP
UNEM0110	高剛性硬質塩化ビニル
UNEM0111	強化プラスチック複合管:FRPM
UNEM0112	ポリエチレン:PE
UNEM0113	レジンコンクリート
UNEM0115	プレキャストコンクリート
UNEM0116	現場打鉄筋コンクリート
UNEM0099	不明

2.1.5 任意属性項目の利用方法

各事業者が保有する独自の属性情報を格納する際に利用する。データを「項目（キー）」と「値」の組み合わせで整理し、波括弧 `{}` やコロン `:` を使って記述するデータ表現である JSON 形式を用いる。なお、「項目（キー）」部分は事業者独自の属性名を指定する。

例) `{"住所":"東京都港区 1-2-3", "型式":"TX-2000"}`

3 参照系

参照系について定義する。

参照系とは、空間及び時間の位置を定める基準である。

3.1 空間参照系

平面直角座標系（日本測地系 2011、JGD2011）、EPSG コード：6669～6687 を使用する。

3.2 時間参照系

時間参照系はグレゴリオ暦及び日本標準時とする。

4 書式情報

ファイル内で使用する文字について示す。

4.1 文字集合

SJIS を使用する。

文字セットは cp932 に準拠する。

なお、インフラ管理 DX システムに設備データを取り込む際は SJIS から UTF-8 に文字コード変換を行う。

4.2 言語

日本語を使用する。

5 配布媒体情報

ファイルの連携単位と形式について定義する。

5.1 ファイル単位

シェープファイルは公益事業者×設備分類×座標系（平面直角座標第 1 系～第 19 系）単位でファイルを作成する。ファイルサイズは 2GB を上限とする。

5.2 ファイル名称

[事業者コード]_[事業者名]_[設備分類英名]_[出力日 yyyyMMdd].zip とする。

ファイル名に用いる事業者コード及び事業者名はインフラ管理 DX システムに登録した値とする。また、ファイル名に用いる設備分類英名は以下の通りとする。

表 5-1.設備分類英名一覧

設備分類名	設備分類英名
埋設管路	underground_pipes
地下電線類	underground_cables
地上電線類	overhead_cables
電柱類	utility_poles
地下附帯施設	underground_facilities
地上附帯施設	aboveground_facilities

5.3 フォルダ構成

zip 内の下記 4 ファイルは必須とし、その他補助ファイルについては任意とする。
(.sbn など)

名称内のシーケンス番号は、ファイルサイズが上限を超えてファイルが分割される際に使用する。ファイルサイズが 2GB 以内の場合は 1 固定とする。

- ・ [事業者コード]_[事業者名]_[設備分類英名]_[出力日 yyyyMMdd]_[シーケンス番号].dbf
⇒ 1 フィーチャにつき 1 レコードでフィーチャの属性を格納しているファイル
- ・ [事業者コード]_[事業者名]_[設備分類英名]_[出力日 yyyyMMdd]_[シーケンス番号].shp
⇒ 1 レコードごとに形状を構成する頂点の座標リストを保持するファイル
- ・ [事業者コード]_[事業者名]_[設備分類英名]_[出力日 yyyyMMdd]_[シーケンス番号].shx
⇒ 100 バイトのヘッダと 8 バイト固定長のレコードで構成され、各レコードの.shp ファイル先頭からのオフセットを記録するインデックスファイル
- ・ [事業者コード]_[事業者名]_[設備分類英名]_[出力日 yyyyMMdd]_[シーケンス番号].prj
⇒ データがどの座標系で表現されているかを定義するファイル。

zip ファイル内にサブフォルダは作成せず、すべてのシェープファイルは解凍時にフォルダ直下へ格納されるものとする。

5.4 成果品の単位と空間範囲

zip ファイルは公益事業者×設備分類単位で提供する。

空間範囲は、各公益事業者がインフラ管理 DX システムに提供するすべての設備データが含まれる範囲と一致させることを基本とする。

5.5 提供形式

zip 形式で提供する。パスワードは設定しない。

なお、zip ファイルの容量について制限は設けない。但し、データ標準化や DB 登録時の処理性能によっては、ファイル分割の可否を次年度以降の検討事項とする。

5.6 拡張規則

本仕様書に定義されていない属性項目・コード値を用いたい場合は、以下に示す規則に従う。

規則 1：本仕様書に定義されていない属性項目は、任意属性項目 1～10 に JSON 形式で定義する。

規則 2：本仕様書にコード値として定義されていない設備種別は、「NODT0001：その他」を使用し、必要に応じて任意属性項目 1～10 に該当設備種別名を定義する。